

第 477 回 企業会計基準委員会議事概要

I. 日 時 2022 年 4 月 13 日（水） 12 時 30 分～15 時 20 分

II. 場 所 ウェブ会議

III. 議 題

（審議事項）

- (1) 委員会の運営について（非公開）
- (2) 2022 年 3 月・4 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）の報告
- (3) リースに関する会計基準の開発
- (4) 金融資産の減損に関する会計基準の開発
- (5) 専門委員の選退任

本企業会計基準委員会は、新型コロナウイルス感染症への対応として、「企業会計基準及び修正国際基準の開発に係る適正手続に関する規則」第 13 条に基づき、ウェブ会議で実施した。

IV. 議事概要

（審議事項）

- (1) 委員会の運営について（非公開）

川西委員長より、定款第 58 条第 2 項に定める委員長に事故あるとき又は欠けたときにその職務を代理又は代行する委員として、紙谷委員を指名したことが報告された。

また、川西委員長より、企業会計基準委員会等運営規則第 3 条第 1 項に基づき副委員長を設置したい旨の説明がなされ、特段の異議なく承認された。その後、川西委員長より、同規則第 3 条第 2 項に基づき紙谷委員が副委員長に指名された。

- (2) 2022 年 3 月・4 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）の報告

川西委員長より、2022 年 3 月・4 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）の報告について説明がなされ、審議が行われた。

- (3) リースに関する会計基準の開発

川西委員長、牧野アシスタント・ディレクター、秋本専門研究員及び山崎専門研究員より、「サブリース取引」についての事務局の分析及び提案、「リース負債の見直し及びリースの条件変更」に関する改正リース会計基準等への採り入れ方についての事務局の分析及び提案、「我が国に特有な取引等についての設例」の修正案、企業会計基準適用指針第 13 号「関連当事者の開示に関する会計基準の適用指針」の修正案並びに「連結キャッシュ・フロー計算書等の作成基準」の一部修正案について説明がなされ、第 110 回リース会計専門委員会（2022 年 3 月 2 日開催）及び第 111 回リース会計専門委員会（2022 年 3 月 23 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

- (4) 金融資産の減損に関する会計基準の開発

川西委員長及び宮治アシスタント・ディレクターより、予想信用損失モデルに基づく金融資産の減損についての検討の進め方に関する事務局案、金融資産の減損に関連する日本基準、IFRS 第 9 号「金融商品」及び Topic326（米国会計基準）の比較、ECL モデル（IFRS 基準）と CECL モデル（米国会計基準）の基本的な考え方並びに ECL モデルと CECL モデルのどちらのモ

デルを開発の基礎とするかの選択の方向性に関する事務局の分析について説明がなされ、第178回金融商品専門委員会（2022年4月4日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

(5) 専門委員の選退任

川西委員長より、実務対応専門委員会及び税効果会計専門委員会の専門委員の選退任について説明がなされ、審議が行われた。審議の結果、原案の通り承認され、委嘱等の手続を行うこととされた。

以 上